作成日：２０１７年１０月０１日
改訂日：

安全データシート（ＳＤＳ）

１．化学品及び会社情報

製品名	**プロキッチン　薬用手洗いプロ洗剤ＩＰ**
販売名	ハンドソーププラスＩ
会社名	シーバイエス株式会社
住所	神奈川県横浜市中区山下町２２番地　山下町ＳＳＫビル／〒２３１－００２３
担当部門	カスタマーテクニカルセンター
電話番号	０４５－６４０－２２８０
ＦＡＸ番号	０４５－６４０－２２１６
推奨用途及び使用上の制限	薬用石けん（医薬部外品） 効能又は効果；皮膚の清浄・殺菌・消毒
整理番号	Ｔ３８０１１

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	爆発物	：分類できない
	可燃性／引火性ガス	：分類対象外
	エアゾール	：分類対象外
	支燃性／酸化性ガス	：分類対象外
	高圧ガス	：分類対象外
	引火性液体	：分類できない
	可燃性固体	：分類対象外
	自己反応性化学品	：分類できない
	自然発火性液体	：分類できない
	自然発火性固体	：分類対象外
	自己発熱性化学品	：分類できない
	水反応可燃性化学品	：分類できない
	酸化性液体	：分類できない
	酸化性固体	：分類対象外
	有機過酸化物	：分類できない
	金属腐食性物質	：分類できない
健康有害性	急性毒性（経口）	：区分外
	急性毒性（経皮）	：分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	：分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	：分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	：分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	：分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分２Ｂ
	呼吸器感作性	：分類できない
	皮膚感作性	：分類できない
	生殖細胞変異原性	：分類できない
	発がん性	：分類できない
	生殖毒性	：分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：分類できない
	吸引性呼吸器有害性	：分類できない
環境有害性	水生環境有害性（急性）	：分類できない
	水生環境有害性（長期間）	：分類できない
	オゾン層への有害性	：分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル　　なし

注意喚起語　　警告

危険有害性情報　　眼刺激

注意書き　　【安全対策】
取扱い後は手をよく洗うこと。
【応急措置】
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

人の健康に対する有害な影響

- 吸入した場合、刺激性は弱い。
- 皮膚に付着した場合、刺激性がほとんどない。
- 眼に入った場合、刺激性は弱い。
- 飲み込んだ場合、有害性は低い。

環境への影響

- データなし

物理的及び化学的危険性

- 不燃性であり、引火・発火性などの危険性はない。

３．組成、成分情報

化学物質・混合物の区分　：　混合物

成分	ＣＡＳ番号	官報公示整理番号 化審法番号	濃度又は濃度範囲 （%）
イソプロピルメチルフェノール（有効成分）	3228-02-2	3-521、4-57	非公開
ヤシ油脂肪酸カリウム	61789-30-8	2-611	非公開
ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	68603-42-9	2-827	非公開
エデト酸塩	非公開	非公開	非公開
香料	非公開	非公開	非公開
緑２０１	4403-90-1	5-1741	非公開
水	7732-18-5	―	非公開

- 内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質：環境省「環境ホルモン戦略計画SPEED’98」（2000年11月版）で示された物質（６５種類）を使用しない。
- 化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ法）　非該当

４．応急措置

吸入した場合　：　ミストなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、新鮮な空気の風通しのよい場所で安静にする。その後、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合　：　皮膚障害が新たに発生した場合等、異状を感じたときは直ちに皮膚科専門医の診断を受ける。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ、皮膚を流水でよく洗い流す。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合　：　直ちに流水で１５分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合　：　直ちに水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

その他　：　使用中、眼に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用をやめてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参する。

５．火災時の措置

消火剤	：	水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
使ってはならない消火剤	：	情報なし
特有の危険有害性	：	情報なし
特有の消火方法	：	周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。 移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	：	消火作業では保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
： 保護具（保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。
漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項　： 雨水溝、河川、海上などに多量に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
： スクイジーなどを用いてできる限り空容器などに回収する。
回収した跡、または回収できないものは、多量の水で充分に洗い流す。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
- 薬用石けんであるため、用途以外には使用しない。また、定められた方法にしたがって使用する。
- 他の薬剤、洗浄剤などとは絶対にまぜたり併用しない。
- かぶれ、ただれなどの皮膚障害があるときは、悪化させることがあるので使用しない。
- 皮膚に異状を感じたときは使用を中止する。
- 飛散した液やミストを吸い込んだり、眼に入らないようにする。
- 他の容器に移し替えるときは専用容器を使用し、誤飲等事故のおそれがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
- 専用容器内の製品を使い終わった場合は、必ず容器内をよく洗浄し、乾燥させた後に製品を移し替える。製品を使い切らずに残っている状態で継ぎ足さない。
- すすぎが不十分な場合手に原料臭が残るので、使用後はよくすすぐこと。
- ５℃以下の低温では希釈液が濁り安定性を損なうため、できるだけ１０℃以上の温度で使用すること。
- うすめた液を長期間保存すると変質することがあるので、使用の都度うすめる。
- 倒したり、こぼしたりしないように注意する。
- 使い終わった容器は、充分に洗ってから処理する。

保管
- 直射日光、４０℃以上、多湿及び凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。
- 子供の手の届かないところに保管する。
- 横倒しの状態で輸送及び保管しない。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度	：	設定されていない。
許容濃度	：	設定されていない。
設備対策	：	取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器用の保護具	：	使用上の注意を守った使用においては不要。
手の保護	：	使用上の注意を守った使用においては不要。
眼の保護	：	使用上の注意を守った使用においては不要。
皮膚及び身体の保護具	：	使用上の注意を守った使用においては不要。

９．物理的及び化学的性質

外観（形状、色）	： 濃青色透明液体	
臭い	： 特異臭	
ｐＨ	： １０．０（原液、２５℃）	
比重	： １．０２（２０℃）	
溶解度	： 水と混合する	
融点・凝固点	： ０℃以下	
沸点	： ９０℃以上	
引火点	： なし（不燃性）	
燃焼又は爆発範囲	： なし	
蒸気圧	： データなし	
蒸気密度	： データなし	
水分配係数	： データなし	
自然発火温度	： データなし	
分解温度	： データなし	
ヒ素[Ａｓ]	： ０．０５ mg/L 以下	（厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準）
重金属[Ｐｂとして]	： １．０ mg/L 以下	（厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準）
メタノール	： １ mg/g 以下	（厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準）

（注）数値はいずれも代表値で表示

１０．安定性及び反応性

反応性	： 通常の取扱い条件においては危険な反応を起こすおそれはない。
化学的安定性	： 通常の取扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： 直射日光、４０℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
混触危険物質	： 特になし
危険有害な分解生成物	： データなし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）	： 使用原料の加算式判定の結果より、区分外とした。 ＬＤ５０ ＞２０００ｍｇ／ｋｇ
急性毒性（経皮）	： データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：ガス）	： 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	： データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	： データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	： データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	： 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分２Ｂとした。
呼吸器感作性	： データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	： データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	： データ不足のため分類できない。
発がん性	： データ不足のため分類できない。
生殖毒性	： データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	： データ不足のため分類できない。
その他の情報	： データなし

１２．環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性（急性）	：	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性（長期間）	：	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	：	生分解性は良好と判断される。
生体蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	データなし
オゾン層への有害性	：	データなし
その他の情報	：	データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	：	下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 少量の場合は、水で充分に希釈して排出する。 多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
汚染容器、包装	：	使い終わった容器は、水で充分に洗ってから処理する。

内容物／容器の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号	：	該当しない
品名（国連輸送名）	：	該当しない
国連分類	：	該当しない
容器等級	：	該当しない
海洋汚染物質	：	該当しない
ＭＡＲＰＯＬ73/78及びＩＢＣコード	：	ばら積み輸送されない製品のため対象外。
ＨＳコード	：	３４０１．１１
国内法規制	：	次の輸送に関する国内法規に該当するので、定められている輸送方法に従う。 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件：

- 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。
- 荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
- 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 直射日光、４０℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
- 水濡れを避ける。

１５．適用法令

毒物及び劇物取締法		：	該当しない
化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ法）		：	該当しない
労働安全衛生法／	通知対象物	：	該当しない
	表示物質	：	該当しない
	有機則	：	該当しない
	特化則	：	該当しない
消防法		：	該当しない
薬機法		：	医薬部外品
危険物船舶運送及び貯蔵規則		：	該当しない
海洋汚染防止法		：	ばら積み輸送されない製品のため対象外。
水質汚濁防止法／水素イオン濃度		：	該当する
廃棄物の処理及び清掃に関する法律		：	産業廃棄物

１６．その他の情報

問い合わせ先　：シーバイエス株式会社
カスタマーテクニカルセンター
電話番号：０４５－６４０－２２８０／ＦＡＸ番号：０４５－６４０－２２１６

改訂の記録　：作成　；２０１７年１０月０１日
改訂　；

引用文献　：
・製品安全データシートの作成指針(改訂版)、日本化学工業協会（２００１）
・ＧＨＳ対応ガイドライン、（財）日本化学工業協会（２０１２）
・JIS Z 7252:2009 ＧＨＳに基づく化学物質等の分類方法、日本規格協会
・JIS Z 7253:2012 ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）、日本規格協会
・労働安全衛生関係法令集、労務行政研究所
・１６３１３の化学商品、化学工業日報社
・化学品安全管理データブック、化学工業日報社
・公害防止の技術と法規（水質編）、産業公害防止協会
・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方、日本規格協会
・ＧＨＳ分類結果データベース、製品評価技術基盤機構ＨＰ
・ＧＨＳ対応モデルラベル・モデルＳＤＳ情報、厚生労働省職場のあんぜんサイトＨＰ

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上